

目で見る！

苫小牧港の経済効果



苫小牧港が苫小牧市の産業や地域経済へどのような影響を与えているのか、「苫小牧港の経済効果」をお知らせします。

苫小牧市及び苫小牧港の現状

★ 苫小牧市の人口と税収 ★

北海道の人口が減少傾向のなかで、苫小牧市の人口は苫小牧港の発展と共に増加しています。これは、港湾周辺に数多く立地する製造業を中心とした産業基盤が安定していることによるものと考えられます。

また、苫小牧市の税収も人口の伸びと同じく推移しています。

北海道人口：H10比(ピーク時)より約15万人(3%)減
 苫小牧市：同年比約1,300人(1%)増

全道の港湾貨物の約半数を取扱ってるんだね！



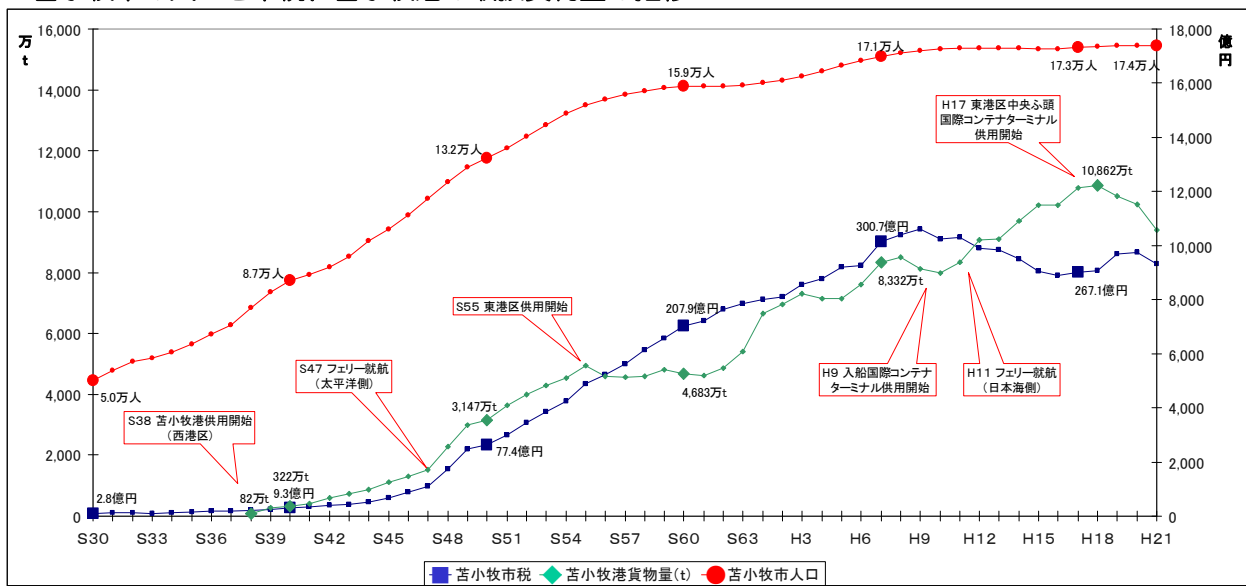
★ 苫小牧港の取扱貨物量 ★

昭和38年の供用開始以来、港湾機能の充実により、多くのフェリーやRORO船、外貿コンテナ船などの定期航路が就航しています。

また、製紙産業や自動車産業が盛んであるほか、飼料や石油精製などの大規模基地が臨海部を拠点に立地しているため、原料となるチップや飼料、石炭や原油等を輸入するための大型船の利用も盛んです。

このため、苫小牧港の取扱貨物量は約1億t(全道比約50%)にも及んでおり、苫小牧市はもちろん道内産業の重要な物流拠点として利用されています。

苫小牧市の人口と市税、苫小牧港の取扱貨物量の推移

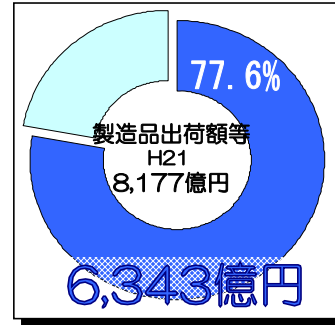


苫小牧港の経済効果

※各データは、「苫小牧市統計書平成22年版」、「平成21年度苫小牧市歳入歳出決算書」に基づき、港湾関係分を推計した数値である。

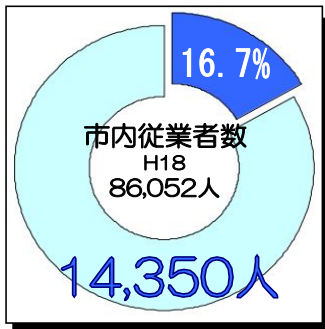
★苫小牧市の製造品出荷額等への影響★

苫小牧市の平成21年における製造品出荷額等は8,177億円であり、道内で1位となっており、これは2位の室蘭市の約1.6倍であり、道内では群を抜いて高い額となっています。そのうち港湾関係の製造品出荷額等は6,343億円(77.6%)となっています。苫小牧市は大規模な製造業が集中しており、原材料の搬入や製品の出荷に港が重要な役割を果たしています。

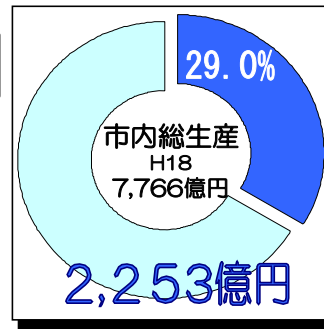


★苫小牧市の経済及び市税への影響★

苫小牧市の平成18年における事業所数は8,492箇所、従業者数は86,052人であり、そのうち港湾関係分の事業所は284箇所(3.3%)、従業者14,350人(16.7%)となっています。苫小牧市の平成18年における市内総生産は7,766億円であり、そのうち港湾関係の市内総生産は2,253億円(29.0%)となっており、市内経済活動の約3割を担っています。



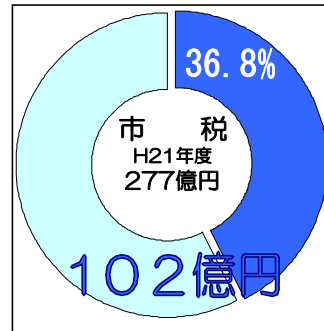
市内経済活動の約3割を担ってるんだね！



苫小牧市の平成21年度における歳入(一般会計)は737億円であり、そのうち市税は277億円(37.6%)と一番大きい割合となっています。そのうち港湾関係分の市税は102億円(36.8%)となっており、苫小牧市の税収に大きく貢献しております。

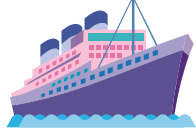


苫小牧市の税収に貢献しているんだね！



※ この「苫小牧港の経済効果」は、苫小牧市と苫小牧港管理組合が共同で、独自に港湾関係分を推計したものです。産業連関表を用いて行う経済波及効果(間接的に利用する効果)などとは異なります。今後も、「苫小牧港の経済効果」をより分かりやすくお知らせしていきます。

苫小牧港は、苫小牧市の産業や地域経済に大きな影響を及ぼしています！



問合せ先: 苫小牧市産業経済部 0144-32-6438
苫小牧港管理組合総務部 0144-34-5903